



インスピレーションになろう

# ガバナー月信

2019年2月号 Vol.8

2018-2019 年度ガバナー 川瀬康裕



## Contents

奉仕プロジェクト事業報告	1	新入会員紹介・訃報・今後の予定	11
2019 年度国際協議会参加報告	3	出席報告	12
2019 学年度米山記念奨学生選考会報告	5	コーディネーターニュース	13
ロータリーショーケース 2560	6	ハイライトよねやま	14

## ■奉仕プロジェクト事業報告

### 「認知症を知ろう」講演会

高田東RC ロータリー財団委員会  
副委員長 延澤 儀一

この度、高田東ロータリークラブでは奉仕プロジェクト（R財団地区補助金事業）として「認知症を知ろう」講演会を開催いたしました。第1回は2018年11月5日（月）に、第2回・第3回は12月9日（日）午前、午後にそれぞれ行い、合計3回にわたり上越市市民プラザにて開催いたしました。

これは2018-2019年度 川瀬ガバナー年度の地区運営方針のひとつである「人道的奉仕の重点化」のなかで、ロータリー財団地区補助金事業の採択を受け行われた認知症サポーター養成講座です。

第1回は平日の夕方、第2回・第3回は小雪が舞う足元の悪い中ではありましたが、合計108名の認知症サポーターを養成することが出来ました。

講師は上越市役所高齢者支援課の保健師長のほか、上越地域医療センター病院地域包括支援センターの保健師、主任支援介護専門員の方々にお話しいただきました。

上越市の認知症の方が2025年に1万人を超え、後期高齢者の6人に1人の割合になり「人ごとではない」ことを繰り返し強調され、若年性の認知症もあり、職場や地域の理解が不可欠との指摘がありました。特に詳しく解説したのは予防法と関わり方などで、認知症は生活習慣病から引き起こされることも多く、人との会話や大声で笑うなど笑顔あふれる日常の大切さに加え、食生活や適度な運動を行うことも大切とのことでした。関わり方としては尊厳を傷つげず、さりげない援助の「人間杖」のサポートが大切だということです。



Rotary 国際ロータリー第2560地区ロータリー財団地区補助金事業

認知症サポーター養成講座

## 「認知症を知ろう」講演会

認知症の人や家族が安心して暮らせる街を作ろう

認知症は上越市でも推計9,000人を超える、身近な病気です。  
認知症の症状や対応時の心得など**認知症を正しく理解**し、認知症の人やその家族を温かく見守り対応する「応援者」になりませんか。受講者には、認知症サポーターとしてオレンジリングを進呈します。

**講師**  
認知症サポーターキャラバンメイト  
上越地域医療センター病院  
地域包括支援センターの  
専門の方がお話をされます

**講座の内容**（予定）

- \* 認知症とは？
- \* 認知症の症状の理解
- \* 認知症の予防についての考え方
- \* 認知症の人と接する時の心構え
- \* 認知症の人への対応



身近な問題です。  
みんなて学び、  
地域をさえましよう！

- 参加無料 -  
どなたでも参加できます

- ① 11月5日(月) 17:00~18:30  
上越市市民プラザ2F第2会議室
- ② 12月9日(日) 10:00~11:30  
上越市市民プラザ2F第4会議室
- ③ 12月9日(日) 13:30~15:00  
上越市市民プラザ2F第4会議室

上越市市民プラザ：上越市土橋 1914-3 TEL:025-527-3611

■お問合せ 090-8424-8011 高田東ロータリークラブ 延澤  
事前のお申し込み受付はこちらへ (お申し込みがなくても当日ご参加できます)  
FAX.025-525-1638 高田東ロータリークラブ事務局  
(この用紙にご記入の上お送りください)

お名前		<input type="checkbox"/> 11月5日17:00~
参加人数	名	<input type="checkbox"/> 12月9日10:00~
		<input type="checkbox"/> 12月9日13:30~

また、11月5日（月）の講演会は上越エリアの地域新聞 上越タイムス社様や上越ケーブルビジョン様が取材に来てくださり、後日新聞掲載、テレビ放映も行われました。ロータリーの公共イメージ向上の一翼を担うことができたと考えております。

上越市の人口19万人のうち、65歳以上の高齢者は6万人（31.4%）おり、そのうち要支援・要介護認定をうけている高齢者は12,000人と高齢者の20%を占めております。現在の上越市で認定されている認知症の方は4,600人ですが、推計では9,000人の認知症の方がいらっしゃるそうです。また、前述のように今後も認知症の方が増加することが見込まれます。

上越市では総人口の9%にあたる17,800人の認知症サポーターがおりますが、隣接する妙高市では総人口の22%の認知症サポーターがおり、上越市の認知症サポーターの人数は十分とは言えないのが現状です。

今回の講演会は今後の高齢化社会の問題が大きな社会問題であることを会員・受講者の方々が改めて認識し、その問題に対して地域社会の関心を高めて問題解決へ向かう手助けができたのではないかと考えております。当クラブでは今後もこのような奉仕活動を通して、認知症についての正しい知識をもち、認知症の方やそのご家族の方々を地域で温かく見守る応援者「認知症サポーター」が増えるように活動してまいります。



## 2019 年度国際協議会参加報告

2019-20 年度 RID2560  
ガバナーエレクト 大谷 光夫 (高田 R C)

1月12日～21日米国サンディエゴで開催された国際協議会に出席してまいりました。1月12日は上越妙高駅に第7分区の大勢のロータリアンから激励の為お見送りいただき、心して出発しました。

成田からロサンゼルスまで8時間。ロサンゼルスからサンディエゴまで3時間。途中、宇宙船エンデバーと月面周回したアポロを見学。13日に到着。着後は会場で即オリエンテーションと歓迎レセプション。14日から18日までの5日間は部屋での宿題もあって、聞きしに勝るハードスケジュールでした。

60分の本会議7回。90分の分科会9回。分科会では討議から情報交換やら発言を求められたりと時間いっぱいに使われ、19-20年のRIは変化を最優先事項に掲げて行動するにはどうするか研修でありました。(詳細は今後お知らせしてまいります。)



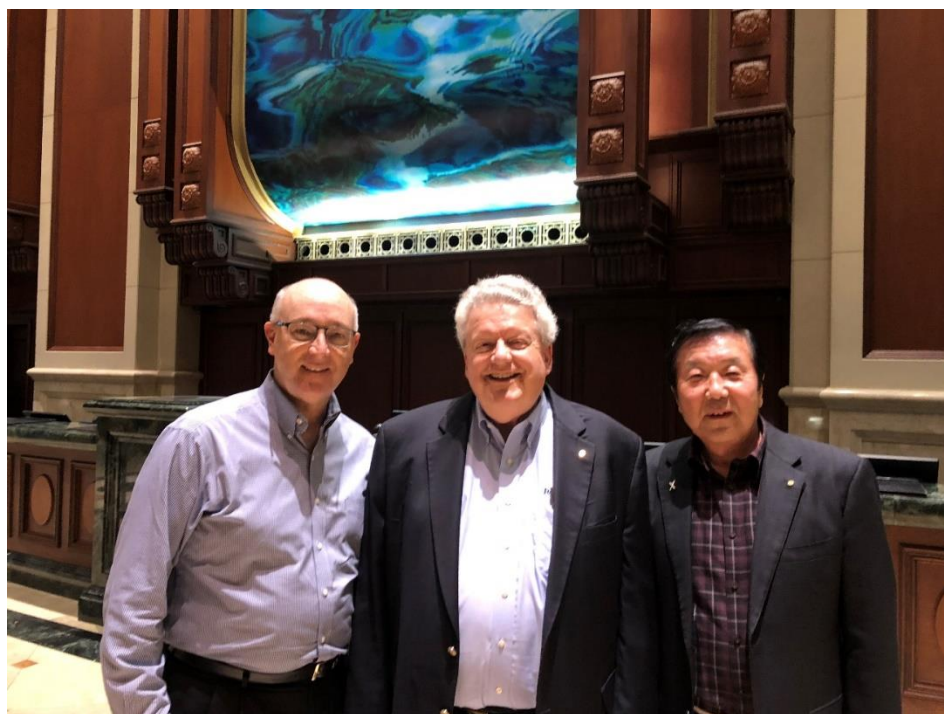
途中16日は午後から骨休みで、港に記念艦となっている空母ミッドウェイに乗艦。4,500人の海兵(平均年齢19歳)が小島のような艦を動かしたことに感動!5日間のうち3日間は夕方国際色豊かな催物があり、晩餐会は各国のGEがテーブル毎に分かれ、バッジ・名刺の交換をしながら和やかに過ごしました。



世界 538 地区の GE とその家族約 1,200 人が一堂に集まった食事会場は熱気に溢れていました。今回は初の試みということで、世界から応募を募り、応募者（1,600 人）の中より選ばれたローターアクター60 人（日本 3 名）が参加して意見交換出来たのは大変参考になりました。



日本 34 地区の同期 GE の奥様方もロータリーについて熱心に研修されたようであります。この協議会で出てきた難題を出来ることから少しずつ当地区の状況を勘案しながら、56 クラブ会長と相談し進めてまいり所存でございます。



RI 会長と街でばったりお会いしました。

## 2019 学年度米山記念奨学生選考会報告

米山記念奨学委員会  
奨学生選考委員長  
宮嶋 正明（新発田R C）

日頃は米山記念奨学事業にご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。  
米山記念奨学委員会では1月19日（土）に2019学年度（2019年4月～2020年3月）の米山記念奨学生を決める選考会を万代シルバーホテルにて開催しました。当日は県内各地の指定校から、それぞれの大学で学内選抜を勝ち抜いた52名の応募学生の皆さんが集まりました。事業の本部にあたるロータリー米山記念奨学会が公益法人であるため、奨学生の選考は公平を図り、全国統一の評価項目に従って実施しています。選考の結果19名を米山記念奨学生の合格者として本部に報告しました。合格者には本部から学校担当者を経由して連絡されます。選考会は毎年この時期に行われるため、大雪や寒波で公共交通機関が大きく乱れることも多く、遠方から会場に来る学生を心配する年もあるのですが、今年は大きな交通の乱れもなく助かりました。



選考会での我々の仕事は、ロータリークラブで磨かれて将来は日本と母国との懸け橋となって活躍してくれる学生を見極めること。そして、世話クラブから可愛がられる優秀な学生を採用することです。傍目には一見和やかに見える選考会ですが、選考する立場の我々は大変緊張の一日、そして本当に疲労する一日となりました。

今後のスケジュールですが、まずは各クラブに奨学生の世話クラブのお引き受けをお願いします。その際にはどうぞ快諾をお願いいたします。そして世話クラブには奨学生のカウンセラーをご選任いただきます。3月にカウンセラーの皆さんに「米山カウンセラー研修会」へ出席いただき、続いて4月に「米山記念奨学生オリエンテーション」を開催します。この日、奨学生とカウンセラーは初対面を果たし、この時から正式な“米山記念奨学生”となります。

米山記念奨学委員会はカウンセラーや世話クラブの皆さま共に、奨学生の育成を進め、この春で奨学生を終了して米山学友となる学生を送り出しながら、春から受け入れる新たな奨学生への準備を進めます。そして併せて寄付増進をお願いして参ります。これからも皆さまからの米山へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## ロータリーショーケース 2560

### ■村上岩船RC

#### 村上岩船ロータリークラブ杯小学生野球大会

幹事 石田 佐開（村上岩船RC）

この大会は村上市だけでなく、他市町村からも各地域のチームが一堂に集い、『野球を通じてお互いの親睦を図り、地域社会と交流し青少年の健全育成と野球技術向上を図ることを目的として開催します。』という趣旨で開催して本年度で第4回を迎えました。しかし、この大会には少子化が特に進んでいる村上市内の野球チームに、もっと強くなってもらいたいとの思いと、子供達とその保護者の方々にロータリークラブの存在を知っていただくのも大きな目的のひとつになっています。

開催日は毎年8月の第一土曜日と日曜日の猛暑の中の2日間。各地域から16チームが汗と埃にまみれながら一生懸命白球を追う姿には感動する場面も多々あります。昨今、真夏の猛暑日に屋外で子供たちに野球をさせることは大変難しくなってきました。特に今年は7月の猛暑で主催する我々は怖気づきましたが、チームの指導者、保護者そして主役の子供達のやる気に負けて予定通りの開催になりました。



熱中症対策は完璧に出来ているのか不安が大きくなる中、大会日がやってきました。将来ある子供達に何事もないことだけを祈ってやみません。幸い2日間とも曇り空で前日までの猛暑とはならず子供達もプレーに集中出来たと思います。

終了後の地元指導者を交えての反省会は当然の様に盛り上がり、開催前の不安は完全に忘れて、話題は来年の大会の事になりました。来年は第5回目。そして当クラブ創立20周年記念が重なる節目の年の大会になります。優勝旗を作ってほしいと言う野球指導者や保護者の意見もあり、地域に根差した大会を運営できるようにクラブメンバーにも勉強してもらい、野球少年たちの為にも大事な大会になれるよう努力していきたいと思います。



## ロータリーショーケース 2560

### ■新発田RC

#### グローバル補助金事業について

幹事 小柳 秀樹（新発田RC）

新発田ロータリークラブでは長年にわたり国際奉仕事業に携わっています。今回は前年度に実施し、先日完了したGG1759448についての事業報告と今後の取り組みについてお伝えします。

GG1759448は援助国側主提唱クラブを新発田ロータリークラブ、実施国側主提唱クラブをバンコククロントイクラブとして、バンコクから北へ700kmに位置するナン県のナン病院へ人工透析機器類を贈呈したものです。その背景には、この地方の食生活が起因する腎臓疾患への対処という人道的支援があり、総額US\$58,594の資金を費やしました。事業の企画立案は2017年2月に始まり、幾度の調整を経て、贈呈式を挙行了たのが2018年6月、報告完了が2018年10月でしたので、期間的には1年8カ月を要しました。複数の年度にまたがる長期事業となった故に、事業の承継や完遂に苦労したことは事実ですが、その反面で援助国での歓迎と達成感を味わうことができました。



(贈呈先のナン病院前にて)

今年度は友好クラブである台湾蘆洲重陽ロータリークラブからの提唱でGG1978314として台湾中南部の嘉義県の天主教聖馬爾定医院へ総額US\$36,500を費やし、心肺蘇生機を贈呈する事業に取り組んでいます。当該地区は台湾中南部を代表する景勝地のひとつでもあります。その反面では地形的に条件が厳しく、緊急を要する医療行為の対応が求められるべき地でもあります。2018年6月からの企画立案で、現在では12月中旬の贈呈式の予定が確定しております。



(贈呈式の様子: 病院長と井上会長で握手)



また前述のバンコククロントイクラブからは新たに、バンコクから南へ750 kmに位置するナコーン・シー・タンマラート県のタラサ病院へ人工透析機器を贈呈するプロジェクトの提案があり、当クラブでは善処するべく鋭意努力をしているところです。

私たちがロータリアンとして、人道的支援を通じて世界平和に貢献できるということに誇りを持てればこそ、これらのプロジェクトに付随する困難を乗り越えることが可能と思います。そして個々のプロジェクトの小さな達成感が次の支援の原動力となり、その輪が広がることを願い、私たちは行動を継続しますので皆様方からのご理解とご協力をお願い致します。



(友好締結式にて)



(贈呈式の様子：集合写真)

ロータリーショーケース 2560

■十日町RC

十日町総合公園事業・大山桜の径<sup>みち</sup>

幹事 葉葺 利男 (十日町RC)

十日町ロータリークラブでは、長年続けてきた社会奉仕事業に、昨年度一区切りがついたものをご紹介します。当クラブでは十日町総合公園(サンスポーツランド)に平成3年、創立35周年記念植樹をきっかけに、翌年よりけやき、オオヤマザクラを中心に多品種の桜の苗143本を植樹してきました。

十日町市では公園内に桜を植え市民に桜見物ができる公園を整備する予算がなく、当クラブの35周年記念事業としてぜひ桜の植樹をされ桜公園として市民の憩いの場所を提供できるように要請を受け当クラブでは24年をかけて公園内を周遊する歩道の両側に植樹をし、維持管理を務めてきました。その間、ソメイヨシノが鳥(ウソ)に食べられる苦難に遭い、以後オオヤマザクラを植え立派に花を咲かせるように育てています。この間、地元保育園の園児や先生にも植樹、草刈りなどを手伝ってもらい、現在では、市民の桜見物の名所として、広く市民に利用されるまでになりました。なお今までの事業費の総額は1,100万円超えております。

昨年、完成記念として碑を建立し、『大山桜の径(みち)』と命名することとし、現在管理の移譲については十日町市と協議中です。今後もこれで終わりではなく、引き続きオオヤマザクラを見守りながら、桜の季節の前には公園の清掃等を行いたいと考えております。



## ロータリーショーケース 2560

## ■燕RC

## 留学生と“お国自慢”～お互いの子ども文化を知ろう！～

会長 小田島 藤吉（燕RC）

燕ロータリークラブでは国際ロータリー第 2560 地区米山記念奨学委員会の宇尾野委員長様をはじめ世話クラブの皆さまのご理解とご支援により、米山記念奨学生の皆さんをお招きして 2018 年 9 月 21 日に第 5 回目となります異文化相互理解セミナー「留学生と“お国自慢”～お互いの子ども文化を知ろう！～」を開催いたしました。

当クラブの国際奉仕委員長の藤崎滋人君を中心に新潟県立大学教授榎谷圭司様、新潟県立大学 23 名の学生、米山奨学生 14 名、そのご友人の留学生 10 名の方々からご協力をいただき、地元の中学生(今回中学 1 年生 201 名)を 10 人ずつ 20 グループに分け、米山奨学生と外国人留学生と直接触れ合ってもらうことを目的としてワークショップ形式で、互いに自分の国や地域の文化についてアピールしてもらいました。中学生が留学生の話を一方向的に聞くのではなく双方向の対話を重視して、司会進行役とし新潟県立大学の学生（ファシリテーター）が一人ずつ各グループに入って交流を行いました。

こういった時間をつくっていただく事により、中学生の皆さんは米山奨学生と日本語で直接会話をすることが出来ます、そしてたまたま出会った国の言葉、文化に興味をもっていただき、また米山奨学生におかれましても出席いただく事により、日本の中学生も自分の国の子どもと一緒に可愛いと思う事ができます。そうすることにより、どの国同士も争いの無い平和な国際文化ができ、困った時は協力して行けると思います。

今は中学生かもしれませんが、これからの中学生ですのでどのような方向に進むか分かりませんが、また将来出会う事があればとても濃い友人になれると思います。この素晴らしい体験が将来に亘って大切な宝物になる事と信じて、この活動を続けて参りたいと考えております。



## 2月地区の予定 【平和と紛争予防／紛争解決月間】 (RIレート:\$1=¥110)

	地区主要行事	会場
2 (土)	第2回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルオークラ新潟
9 (土)	地区諮問委員会・大谷年度第2回地区運営会議	ホテルオークラ新潟
10 (日)	2019年2月長期青少年交換学生オリエンテーション	クロスパルにいがた
16 (土)	第2回地区ロータリー財団セミナー 兼 資金管理セミナー	万代シルバーホテル

## 3月地区の予定 【水と衛生月間】

	地区主要行事	会場
2 (土)	米山記念奨学生終了式・歓送会	ホテルイタリア軒
9 (土)	ロータリー財団地区奨学生候補者オリエンテーション	万代シルバーホテル
9 (土)	ローターアクト地区大会	やすね
16 (土)	会員増強セミナー	ホテルオークラ新潟
23 (土)	大谷年度 クラブ会長エレクト研修セミナー (PETS)	研修会: ビーチホールまがたま 懇親会: ホテル國富アネックス
30 (土)	米山カウンセラー研修会	ANAクラウンプラザホテル 新潟
28~ (木) 31 ~ (日)	インターアクト海外研修	台湾

## 新入会員紹介

中条	程 金政	2019. 1. 1	山崎化工設備(株)	代表取締役社長
吉田	坂井 千佐子	2019. 1. 1	介護美容ビューティタッチセラピスト	代表
吉田	板谷 健二郎	2019. 1. 1	イタヤ建築工房	代表
新潟万代	藤木 恒	2019. 1. 7	(株)ホテルオークラ新潟	宿泊部 部長
直江津	小谷 茂	2019. 1. 8	(株)ミナト	代表取締役
直江津	栗原 正人	2019. 1. 8	コマツカスタマーサポート(株)	支店長
新潟南	渡邊 二三枝	2019. 1. 9	プルデンシャル生命保険(株)	課長代理
新潟南	梅田 篤志	2019. 1. 9	梅田税理士事務所	代表
新発田城南	井上 幹也	2019. 1. 10	(有)Rising Film	代表
新発田城南	坂上 春行	2019. 1. 10	(有)坂上美建	代表取締役社長
中条胎内	村田 泰洋	2019. 1. 11	(有)伊藤自動車整備工場	代表取締役

## 訃報

クラブ名	氏名	ご逝去日	会社名
五泉RC	小倉 幸雄 現五泉RC会長	2019. 1. 21	株式会社小倉建設 代表取締役
新潟RC	横村 正一	2019. 1. 25	大明電業株式会社 代表者

心よりご冥福をお祈りいたします。

## 第2560地区 2018-19年度 12月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			2018年7月1日	12月末会員数	うち女性	増減
<b>第1分区(9クラブ)</b>		<b>84.04</b>	<b>375</b>	<b>383</b>	<b>37</b>	<b>8</b>
新発田	3	95.17	95	96	0	1
村上	4	83.33	37	37	9	0
水原	4	85.42	27	27	0	0
中条	4	90.97	36	36	3	0
新発田城南	4	76.57	43	46	4	3
豊栄	4	79.16	24	24	3	0
新発田中央	4	83.41	49	52	5	3
中条胎内	5	78.38	37	37	7	0
村上岩船	2	83.93	27	28	6	1
<b>第2分区(9クラブ)</b>		<b>78.83</b>	<b>437</b>	<b>443</b>	<b>19</b>	<b>6</b>
新潟	4	87.50	86	93	1	7
新潟東	3	90.40	57	56	6	-1
新潟南	3	86.34	104	102	2	-2
佐渡	3	83.30	7	7	0	0
新潟西	3	69.11	39	41	1	2
佐渡南	3	84.87	41	42	5	1
新潟北	3	55.83	40	41	0	1
新潟中央	3	80.55	25	24	0	-1
新潟万代	3	71.53	38	37	4	-1
<b>第3分区(6クラブ)</b>		<b>75.99</b>	<b>117</b>	<b>115</b>	<b>4</b>	<b>-2</b>
新津	4	72.50	18	20	0	2
村松	4	91.66	9	8	0	-1
五泉	4	72.92	13	13	1	0
白根	4	70.58	37	35	1	-2
新津中央	4	73.29	30	29	1	-1
阿賀野川ライン	2	75.00	10	10	1	0
<b>第4分区(11クラブ)</b>		<b>75.13</b>	<b>367</b>	<b>370</b>	<b>26</b>	<b>3</b>
三条	3	80.12	56	60	0	4
燕	4	61.66	33	34	2	1
加茂	4	84.00	30	29	5	-1
三条南	3	88.50	48	47	3	-1
分水	4	63.79	28	29	3	1
見附	3	73.00	20	20	1	0
吉田	3	88.80	28	30	3	2
三条北	4	74.20	64	58	2	-6
巻	4	83.80	20	22	1	2
田上あじさい	4	60.70	7	7	1	0
三条東	3	67.82	33	34	5	1

R C	例会数	出席率	会員数			
			2018年7月1日	12月末会員数	うち女性	増減
<b>第5分区(7クラブ)</b>		<b>86.85</b>	<b>316</b>	<b>317</b>	<b>23</b>	<b>1</b>
長岡	3	87.39	45	47	1	2
柏崎	3	79.85	43	43	0	0
長岡東	3	92.50	67	63	4	-4
柏崎東	3	81.33	48	49	4	1
栃尾	4	98.81	22	23	0	1
長岡西	3	82.67	56	55	5	-1
柏崎中央	3	85.41	35	37	9	2
<b>第6分区(6クラブ)</b>		<b>82.69</b>	<b>149</b>	<b>148</b>	<b>10</b>	<b>-1</b>
十日町	3	97.97	33	33	3	0
小千谷	3	70.58	33	33	4	0
雪国魚沼	3	70.60	27	27	2	0
十日町北	3	100.00	22	22	0	0
津南	3	85.57	27	27	1	0
越後魚沼	4	71.43	7	6	0	-1
<b>第7分区(8クラブ)</b>		<b>83.77</b>	<b>330</b>	<b>331</b>	<b>21</b>	<b>1</b>
高田	3	100.00	65	64	0	-1
直江津	3	78.87	61	65	5	4
新井	4	75.00	30	34	2	4
糸魚川	3	94.42	41	40	3	-1
高田東	3	83.33	37	36	2	-1
糸魚川中央	3	77.14	36	35	0	-1
頸北	4	89.60	15	15	1	0
越後春日山	3	71.76	45	42	8	-3

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,091	人
12月末 会員数	2,107	人
女性会員数	140	人
純増減会員数	16	人
当月平均出席率	80.76	%

※先月号の訂正  
 11月末日会員数  
 三条東RC (33名⇒34名)  
 2560地区合計 (2,134名⇒2,135名)





## ■ 「RLIと公共イメージについて」

ロータリーリーダーシップ研究会は1992年に米国で始まり、2008年に日本に導入された。このディスカッション型の研修に初めて触れたのは2015年1月にガバナーエレクトとして参加したサンディエゴの国際協議会であった。それまで同期のガバナーエレクトとロータリーについて話し合う機会があったが、この時初めて本格的な意見交換ができたように思う。同期の皆さんの人となり、知見を知る機会ともなった。「縦型リーダーシップから横型リーダーシップ」へ社会も大きく変遷している時代にあつて、RLI方式の研修会の有効性が增大していると思われる。RI、地区、クラブという縦型リーダーシップに久しく慣れ親しんだロータリーにあつて新しい動きとすることができる。横型リーダーシップにおいて重要なのは「ダイアログ(対話)」である。元々、共同体的組織として出発したロータリーにおいて対話は重要である。何故なら共同体的組織にとって構成員の満足度が最も重要な要素であるからである。ロータリーにおいて親睦が強調されるのはこのためである。「公共イメージと認知度の向上」というとSNSによる対外的発信に目が行きがちであるが、ロータリアン一人ひとりの満足度の向上とロコミによる広がり程、低コストで効果が大きいものは無いと思う。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 柳生 好春(野々市RC)

## ■ 「世界を変える行動人」

今、なぜ公共イメージと認知度の向上が必要なのかをもう一度考えてみましょう。この二つを向上させる事は会員増強と密接な関係にあるのは言うまでもありません。公共イメージと認知度を向上し会員増強に繋げる事によってロータリーが今以上に社会に奉仕出来る方法は幾つもあると思います。ロータリーデーを行う事も重要ですが、その前にロータリアン一人一人が「ロータリークラブの会員とはどのような人達か」「ロータリークラブは何をしているか」「ロータリーはなぜ必要なのか」などを自らの言葉で一般の人達や入会候補者に説明できる事が大事です。例えばRIとロータリー財団が最優先で取り組んでいるポリオ撲滅については東京麹町RCが会員のビジネスコンサルタント山田ツネさんと泌尿器科の医師峰英二さんを中心に「南インド・ポリオ免疫プロジェクト」として始めた活動が最初で本当に「あと少し」でポリオ(小児麻痺)のない世界を子供たちにプレゼント出来る事。またロータリアン一人一人の体験で得たロータリー活動の素晴らしさを言葉で直接発信する事などが挙げられます。言葉で直接伝えるその行動が「世界を変える行動人」としてのスタートではないでしょうか。さあ今、世界を変えるロータリアンになりましょう。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 原 拓男(佐久RC)

## ■ 「職業奉仕の手引き:実践しよう」

1月は職業奉仕月間でしたが、皆様のクラブではどのように取り組みましたでしょうか。国際ロータリーの冊子に「職業奉仕の手引き:実践しよう」(商品番号:255)[電子版のみ](2017年10月版)がありますので紹介をします。

内容は「ロータリーの目的」の第2項「職業奉仕」の実践を総合的に紹介した冊子です。「職業奉仕」とは具体的にどのように実践できるのか、哲学的な概念からその成り立ち、実践例、関連リソースの案内まで網羅した12ページの手引きです。

内容の一部を紹介しますが、「職業奉仕」という概念については「ロータリーの目的」の第2項を土台としており、この項で、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められていますと記述されています。

- ・職業上の高い倫理基準
- ・役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
- ・社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする
- 職業奉仕の実践については、以下の方法をご紹介します。
- ・例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う
- ・地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす
- ・高潔さを重んじて仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す
- ・若者のキャリア目標を支援する
- ・専門能力の開発を奨励し、指導する

紙面の都合上すべてを紹介できませんが是非一読してみたいかと思いますが。

ロータリーにとって職業奉仕は最も重要なことの一つです。職業奉仕はロータリーの核心であり、個々のロータリアンとして職業を営む上でも、クラブとしても世界中の地域社会で奉仕を行う上でも土台となるものです。

第1ゾーン ロータリーコーディネーター 酒井 正人(函館五稜郭RC)



## 海外応募者対象奨学金申し込み状況

2019 学年度の海外応募者対象奨学金には昨年 12 月 15 日の締切までに、世界 27 の国・地域から 135 件の申し込みがありました。このうち、必須書類未提出や、勉学のため来日歴があることなどによる無資格が 51 件あり、最終的な有効申込数は 84 件（複数校を併願している者の重複を含む）となりました。

有資格者の国・地域別ではベトナム、インドネシアが多く、ロータリー地区別では 34 地区中 23 地区で申し込みがあり、最も多い第 2750

地区が 20 件、次いで第 2760 地区が 19 件となっています。

当会事務局で応募書類をチェック後、1 月中旬に各地区へ応募書類を郵送し、地区選考委員会による選考を経て合格者が決定します。

海外応募者対象奨学金は 2019 学年度から正規の奨学金プログラムとなります。海外在住の日本留学希望者が個人で直接応募できるため、国籍や人材の多様化を進めることが期待されています。

## 2019-20 年度地区米山記念奨学委員長セミナー開催報告

12 月 11 日、次年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第 1 回セミナーを開催し、齋藤直美理事長、水野 功常務理事、全 34 地区の次期米山奨学委員長（代理含む）にご参加いただきました。

午前、当会評議員であり第 2700 地区米山奨学委員長の吉田知弘氏から、「委員長を経験して気付いた米山事業の魅力と可能性」、また、第 2530 地区ガバナーノミニーであり地区米山奨学委員長の石黒秀司氏より「R I 第 2530 地区の事例」について、熱く語っていただきました。午後は事務局から各種資料説明、続いて 4 グループに分かれ



て理解促進や奨学生選考と育成、学友会などについて活発な意見交換をしていただきました。

次期地区米山委員長セミナーは年 2 回開催しており、今回は 6 月 20 日に予定しています。

## 寄付金速報 — 今年もよろしくお願ひします —

12 月までの寄付金は前年同期と比べて 1.5% 減（普通寄付金:0.5%増、特別寄付金:2.3%減）、約 1,400 万円の減少となりました。前月に比べ、前年同期との差額がさらに増加したように思われますが、直近 10 年間の中でも三番目に多い金額です。ご寄付をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

「2018 年度 下期普通寄付金のお願い」を

当会から直接、またはガバナー事務所を經由して全クラブにご案内いたしました。普通寄付金は当会事業の重要な安定財源であり、国内全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に、財団法人設立の許可を得た経緯があります。当事業は全地区が参加する「多地区合同活動」であることをご理解いただき、今年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

## 米山学友の柯隆さんが「榎山純三賞」受賞

中国マクロ経済研究の第一人者として知られる米山学友の柯隆さん（中国／1992-94／名古屋大須RC）が、著書『中国「強国復権」の条件―「一带一路」の大望とリスク―』（慶應義塾大学出版会・2018年4月刊行）により、第13回「榎山純三賞」を受賞しました。この賞は、公益財団法人榎山奨学財団が主催し、国際社会の安定・進化



重要になってきた現代アジアについて独創的で優れた図書（学術書/一般書 各1件）を表彰するものです。柯隆さんは現在、東京財団政策研究所の主席研究員、静岡県立大学グローバル地域センター特任教授を務めるほか、講演活動、著書・論文の執筆活動、メディアへの出演なども数多く、エコノミストとして活躍しています。栄えある受賞、おめでとうございます！

### 柯隆さんからのメッセージ

昨年、拙著『中国『強国復権』の条件「一带一路」の大望とリスク』は第13回榎山純三賞を受賞しました。謹んでご報告申し上げます。2018年は、私が来日して30年経つ記念すべき年であり、そのなかで素晴らしい賞を受賞できたことは、名古屋大学大学院在学中、ロータリー米山奨学金をいただき、ロータリークラブの皆様のご支援のお蔭でございます。今回の受賞は、自分の研究人生の中で一つのマイルストーンのようなもので、今後の研究に向けて重要な励みとなります。中国経済、日中関係および米中関係の研究に軸足を置いています。これからの国際情勢を鳥瞰して、ますます不確実性が満ちてくる可能性が高いと思われます。ロータリークラブの皆様のご期待を裏切らないように、これからもっと精進して研究にまい進していきたいと思っております。今後ともご指導ならびにご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## タイ米山学友会がローターアクトと合同奉仕活動

タイ米山学友会では11月25日、研修旅行でタイ・バンコクを訪れた第2660地区ローターアクト（大阪北部）との合同奉仕活動として、バンコク郊外のバンプー自然センターにて、マングローブ600本の植林を行いました。タイ米山学友会からは、学友と家族22人



が参加し、強い日差しの中、約40人のローターアクトの皆さんと共に心地よい汗を流しました。終了後の懇親会では、全員で美味しいタイ料理を楽しみながら、日本とタイ両

国の交流の輪、ロータリーファミリーの輪が広がりました。

### ご寄付の確定申告用領収書について

昨年1年間（1～12月）に特別寄付をしたすべての方、もしくは普通寄付金の領収証を申請したクラブには、1月末日までに（確定申告に間に合うように）、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。

海外学友会総会

**タイ米山学友会総会**：2019年2月9日（土）17:00～21:00、会場：S31 Sukhumvit Hotel. 翌10日親睦ゴルフあり。申込・問合せは [thaiyoneyama@gmail.com](mailto:thaiyoneyama@gmail.com)  
**マレーシア米山学友会総会**：2019年2月24日（日）14:00～17:00、会場：Hotel Royale Chulan Kuala Lumpur. 申込・問合せは [yoneyama.malaysia@gmail.com](mailto:yoneyama.malaysia@gmail.com)  
**ミャンマー米山学友会総会**：2019年3月3日（日）受付17:30～、開始18:00、会場：ヤンゴン市、ロッセホテル（14F）、Toh Lim Chinese Restaurant. 会費：ロータリアン60米\$、学友40米\$、申込・問合せは [myanmargakuyu@gmail.com](mailto:myanmargakuyu@gmail.com)

